Ⅱ　支援内容・方法の工夫や配慮に関すること（支援で大切にしてきたこと）

教材や教具・環境や働きかけの工夫・支援のコツ
パニックが起こったときに納める方法・効果のあった方法など

・みんなの前で自分の気持ちを言うことは苦手なので、担任がかわりに言って本人の気持ちを伝えるようにした。
・ぼんやりしていることが多く、行動が遅れがちになるので、名前を呼んでから指示を出したり、再度確認したりしていた。
・パニックになった時は、集団から離して、落ち着くまで待ってから次の指示を出すようにしていた。
・一度にたくさんのことを言われたり、集団活動の場面で指示されたりすると理解できないことも多い。写真カードや絵カードを使って指示をすると有効である。

ここは保護者が園の先生のアドバイスを受けながら記入

Ⅲ　就学後も引き続き教育支援が必要と思われる内容や配慮事項などに関すること

これまでの支援により伸びたこと・これからも伸ばして欲しいことなど

・集団行動はできるので、大きな心配はない。
・ひらがなが覚えられなかったが、りんごの「り」のように絵カードを使って支援したら、18文字覚えることができた。
・新しい先生や友だちなど、新しい環境に慣れるまで配慮が必要である。
・経験したことがないことには、取りかかれないことが多いので、見本を見せたり、事前に予定を知らせておくことが必要である。
・吃音は改善してきたが、就学後は、学習活動等の様々な場面でことばを使うので、就学後は「ことばの教室」での指導が必要と考える。
・入学後も注意を受ける場面が多いことが予想される。素直な面があるので、できたところを褒めて、励ます支援が有効だと思われる。

Ⅳ　就学後の生活に関する意向・要望・期待など（＊保護者記入欄）

ここは保護者が記入

学校生活	・優しいところがあるので、本人を認めて伸ばして欲しい。 ・学習が始まった時にどの程度ついて行けるか心配である。 ・予定が変わるとパニックを起こすので事前に個別に伝えて欲しい。 ・パニックを起こした時にクールダウンできる場所を用意して頂けますか？ ・アトピー性皮膚炎なのでプールの時期が心配です。
家庭生活	・宿題がきちんとできるか心配です。 ・家庭でも、絵カードを使って確認しています。 ・片付けが出来なくて今までは親だけで片づけていましたが、一緒に片づけるようにします。
その他	・入学式の前に一度式場でリハーサルをさせてください。 ・「まなびの教室」に通いたいと思います、どのような手続きをすればよいか教えてください。 ・クラスの保護者に子どものことを伝えたいと思うのですが、そのような機会はありますか？

以上の内容を理解し、関係機関（医療・保健・福祉・教育領域）に相談する場合に使用することについて同意します。

令和　　年　　月　　日

ここは 保護者が記入

保護者氏名

しっかり学び、成長する楽しい学校生活のために

就学支援シート

子どもにはそれぞれよさがあり、豊かな可能性があります。
小学校へ入学するにあたり、幼稚園・保育園・家庭等で今まで大切にしてきたことや、小学校に引き継ぎたいことをまとめてみましょう。
お子さんが、充実した学校生活を送れるように、お役立てください。



ふりがな お子様の名前	保護者が記入	性 別	生年月日 令和　　年　　月　　日
通っている園等	幼稚園・保育園／所 こども園		電話（　　）　　－
	担任		
保護者の名前 （続柄）	（　　）	連絡先 緊急連絡先	－　　－ －　　－
ご住所	〒 入学する小学校名（　　立　　小学校）		

Ⅰ　成長・発達の様子			
健康・生活に関すること	健康・身体	健康上や身体上の必要な配慮点など	このページは　保護者が園・校の先生のアドバイスを受けながら記入
		・特になし ・アトピー性皮膚炎 ・小児喘息があり、季節の変わり目によく発作が起こる。 ・アレルギーがある（そば、動物、ダニ）	
	身体の動き	車いす・補聴器等の使用状況・動作・手指の器用さなど	
		・特に問題なし。 ・両耳に常時、補聴器をつけている。 ・はさみが上手に使える。 ・スキップができない。	
	日常生活	身支度・食事・配慮事項など	
		・自分のロッカーの位置が分からないことがある。 ・一人で洋服のボタンやホックを留めることは難しい。 ・偏食があり、野菜は食べられない。 ・洋式トイレでのみ排泄ができる。	
人との関わりに関すること	人との関わり	誰とでも関われる・特定の相手なら関われるなど	
		・誰とでも仲良く遊べる。 ・親しくない人とは緊張して話ができないことがある。 ・自分から積極的に関わろうとしない。 ・異年齢の小さいクラスの友だちと遊ぶことが多い。	
	集団への参加	集団参加への支援の程度・配慮事項など	
		・意欲的に参加する。 ・小さい集団であれば、声かけをすると参加できる。 ・友だちの行動を見て、一緒に行動しようとする。 ・ルールのある遊びには参加できない。	
	コミュニケーション	言語・指示の理解・要求の伝達方法・配慮事項など	
		・ことばによる指示の理解ができる。 ・ことばで要求できるが、伝えたいことがカードに書いてあると安心して話せる。 ・一斉指導の場面では、指示の理解が難しい。	
活動	主な活動等の内容	好きな課題・苦手な課題・特に重視した課題など	
		・絵を描くことや塗り絵が得意である。 ・身体を動かすことが好きで、体育的課題に積極的に取り組む ・5までの数は理解している。	
興味・関心	・昆虫が好きで、一人で昆虫図鑑を読んでいることが多い。 ・コマ回しが得意である。 ・ブロックづくりが上手である。 ・好奇心旺盛でいろいろなことに興味を示す。 ・友だちに誘われると一緒に遊ぶが、屋外よりも屋内での遊びが好きである。 ・砂場で一人で遊ぶことが多い。 ・自分の思い通りにいかないことがあるとパニックになることがある。		

家族構成	続 柄	氏　名	職業・学校等	その他特記事項
	父	○○ ○○	○○会社	父親は、平成（令和）○○年から単身赴任中
	母	○○ ○○	○○会社	
	姉	○○ ○○	○○小学校 ○年生	

このページは　保護者が記入

医療機関	診　断　等
通院の有無 〔 有 ・ 無 〕	医師による診断の有無 〔 有 ・ 無 〕
医療機関名 ： ○○病院○○科	診 断 名 ：自閉スペクトラム症
主 治 医 ： ○○○○ Dr.	診 断 日 ：平成（令和）○年○月
電　話 ： －　　－	手　帳 ： 療育手帳　有（ A ・ B ）・無
	： 受給者証 有 無
通院の状況： 平成（令和）○年○月に幼稚園の勧めで受診。現在は、不定期に通院。	服薬の状況 ：調子が悪い状況が続くときには、不安や緊張、興奮などの精神症状を改善する薬を処方されている。（薬名○○○○）

生育歴・療育の状況等		
生　育　歴		・3歳児検診…ひどいかんしゃくを起こし、○○病院の受診を勧められる。その時点では診断はつかず、言葉が遅いので言語指導を始める。 ・4歳…幼稚園に入園。集団活動に参加できない。 ・5歳頃…気持ちの切替が難しく幼稚園で時々パニックを起こす。教員が1対1で対応する。 ・6歳…○○病院で「自閉スペクトラム症」の診断を受ける。
関係機関	療育機関	○○療育センター　○○言語聴覚士 月2回通所、言語の指導。発音訓練、落ち着いたやりとり等に取り組む。
	支援機関	
	その他	○○小学校 通級指導教室 毎週1回 担当○○先生
検査結果等		WISC－Ⅳ（○○病院にて平成・令和○年○月） FSIQ=○○ VCI=○○ PRI=○○ WMI=○○ PSI=○○